

(3) 溶接安全委員会による実施事業

平成29年度 溶接安全委員会 事業報告

1. 会議開催状況

第1回 平成29年4月28日(金) 第5回 平成29年 8月17日(木) 第9回 平成30年 1月24日(水)
第2回 平成29年5月24日(水) 第6回 平成29年 9月28日(木) 第10回 平成30年 2月28日(水)
第3回 平成29年6月22日(木) 第7回 平成29年10月17日(火) 第11回 平成30年 3月28日(水)
第4回 平成29年7月19日(水) 第8回 平成29年11月29日(水)

2. 実施事業内容

(1) 第8回関東甲信越高校生溶接コンクールへの参画

4月22日(土) 神鋼溶接サービス株式会社(神奈川県藤沢市宮前100-1)

選手(韮崎工業高校生)2名・付添(教師)1名、同校長・教頭含め教諭3名、同校高校生6名、
ポリテクセンター山梨3名、溶接安全委員長、協会会員・役職員並びに事務局 総計21名 参加

○ 関東甲信越コンクールでの山梨県選手の成績

中嶋 彩君(山梨県立韮崎工業高等学校3年)200点満点中177点で第12位

松本通和君(山梨県立韮崎工業高等学校3年)200点満点中150点で第19位

○ 8月4日(金)「全国選抜高校生溶接競技会in新居浜」大会に松本通知君が「N-2F」に参加

(2) 高等学校溶接競技会事前講習会

5月20日(土) ポリテクセンター山梨にて実施した。

センターから1名、協会からインストラクター含め4名の講師に迎え、7校・選手26名・付添(先生)10名参加
実技前の説明(安全作業、ビデオ教育)、アークの平置き練習、競技課題(A-2F)の練習を行った。

(3) 山梨県溶接技術競技大会・山梨県高等学校溶接競技会

6月10日(土) ポリテクセンター山梨にて実施した。 一般25名、高校生26名(7校)参加

一般の部 被覆アーク溶接の部優勝者 上田 健 剛 氏 (飯田鉄工(株))

炭酸ガスアーク溶接の部優勝者 及川 祐 輔 氏 (八田製作所)

一般の部は、外観、X線、曲げ試験を実施し採点、9月8日(金)に表彰式を行った。

(平成29年10月21~22日開催した全国溶接競技会東部地区神奈川大会に参加)

高校の部 優勝者: 志村 学 樹 君 (韮崎工業高校2年)

準優勝者: 永長 暁 羽 君 (韮崎工業高校2年)

高校生の部は、外観・X線検査による採点を実施し、当日(6月10日)に表彰式を行った。

(平成30年4月28日開催計画の第9回関東甲信越高校生溶接コンクールに参加予定)

(4) 全国溶接競技会東部地区神奈川大会への支援活動(10月19日(木)~22日(日))

東部地区での主催のため、開催地区として大会支援を実施(委員会から3名、事務局から2名参加)

(5) クレーンの定期点検の実施

月次点検: 9社、43台 年次点検: 8社、59台

(6) 安全パトロールの実施

第1回: 6月22日(木) 4社、 第2回: 10月17日(火) 7社

(7) 安全標語の募集

8月18日(金)公募(募集期限:9月30日まで) 協会会員61社、賛助会員20社に募集を案内した。

10社118点の応募があり、10月17日開催の委員会にて5点に絞り各賞を選考した。

最優秀作品: 川口和枝 氏(飯田鉄工(株))、準優秀作品: 久保田清夏 氏(日東物産(株))、

佳作: 3点(榎羽田鉄工所 奥脇氏、飯田鉄工(株) 高橋氏、飯田鉄工(株) 宮田氏)を選定した。

最優秀・準優秀作品の2点は、印刷(各180部)し会員・賛助会員企業にそれぞれ2部ずつ配布した。

新年会(1月30日開催)にて、最優秀作品、準優秀作品提供者2名を表彰した。

(8) 東部地区溶接協会連絡会との連携

第1回: 7月 4日(火) 長野県諏訪市上諏訪温泉『ぬのはん』にて開催(副会長、事務局 計2名参加)

第2回: 11月21日(火) (一社)日本溶接協会『溶接会館』にて開催(事務局 1名参加)

(9) 山梨県労働災害防止団体連絡協議会との協調

第1回: 6月26日(月) 第3回: 9月11日(月) 第5回: 3月12日(月)

第2回: 7月31日(月) 第4回: 12月15日(金)

平成29年度(第90回)全国安全週間 … 7月1日~ 7月7日 リーフレット配布

平成29年度(第68回)全国労働衛生週間 … 10月1日~10月7日 リーフレット配布

平成29年度年末年始無災害運動 … 12月1日~1月31日 ポスター 配布

平成29年度山梨県産業安全衛生大会協賛・参加 … 10月3日(火) 県立文学館

(10) 日本建築学会広島大会での講演発表

… 8月31日(木)

(11) 半自動溶接 30度狭開先機械的試験の実施(全構協助成金事業「鉄骨技術研究開発助成制度」)

28年度狭開先で溶接した試験体から24体選択し、山梨県産業技術センターにて加工・試験を実施

(12) 労働災害発生状況とその広報、協会内発生災害の再発防止対策のまとめ